

# information

※各講座の詳細は千葉リハホームページに掲載しています。

## 講習会・研修会 案内 ▶

### ■高次脳機能障害地域支援者向け連続講座2023

第3回 各論2: 記憶障害・遂行機能障害

日時: 2023年11月2日(木) 集合研修 14:00~16:00

第4回 各論3: 社会的行動障害・失語症

日時: 2024年1月12日(金) 集合研修 14:00~16:00

場所: 千葉市民会館 小ホール

対象: 高次脳機能障害者に対する支援を行っている、または高次脳機能障害に関心がある 千葉県内の事業所や医療機関にお勤めの支援者



各論は、それぞれの症状を深掘りしていきます！事例と具体的な対応もたくさんご紹介いたします。

## 高次脳機能障害地域支援者向け連続講座 2023

場所: 千葉市民会館小ホール JR千葉駅東徒歩7分 JR東千葉駅 徒歩3分  
集合研修 14:00~16:00

各回 参加無料

主催: 千葉県千葉リハビリテーションセンター 地域支援センター高次脳機能障害支援部 [高次脳機能障害支援センター]

第1回	7/14(金)	■高次脳機能障害概論 講師: 丹保英理 (千葉リハビリテーションセンター-脳神経科・リハビリテーション科) ■ミニ体験「図鑑の見え方」 講師: 岡本美希子 (高次脳機能障害支援センター-作業療法士)	■受講対象者 高次脳機能障害者に対する支援を行っている、または高次脳機能障害に関心がある千葉県内の事業所や医療機関にお勤めの支援者。 定員の枠限上、千葉県外の支援者の場合はお申込みをご遠慮下さい。
第2回	9/8(金)	■各論1: 神経疲労(脳疲労)・注意障害 講師: 播戸室 (高次脳機能障害支援センター-理学療法士) ■ミニ体験「ナチュラルサポート」 講師: 高橋直貴 (千葉リハビリテーションセンター-作業療法士)	■定員 各回とも150人に達し次第、締め切らせていただきます。
第3回	11/2(木)	■各論2: 記憶障害・遂行機能障害 講師: 岡本美希子 (高次脳機能障害支援センター-作業療法士) ■ミニ体験「手順書作成」 講師: 播戸室 (高次脳機能障害支援センター-理学療法士)	■申込方法 各回ごとに事前申込みが必要です。詳細は裏面をご参照下さい。
第4回	1/12(金)	■各論3: 社会的行動障害・失語症 講師: 先崎章 (千葉リハビリテーションセンター-言語聴覚士) 講師: 高橋直貴 (千葉リハビリテーションセンター-言語聴覚士)	



# 掲示板



- 支援センターだより
- 全国の動き・イベント講習会報告

こ～じのう掲示板は千葉県千葉リハビリテーションセンターや千葉県、全国の高次脳機能障害に関する情報を紹介する広報誌です

## 菜の花メッセージ

菜の花メッセージは、高次脳機能障害支援にかかわる方々から、応援メッセージをいただき掲載しております。



東総地域からごあいさつ ～高次脳機能障害と発達障害を通して思うこと～

地方独立行政法人  
総合病院国保旭中央病院  
脳神経外科 大屋 滋  
おおや しいる



私は脳機能の障害に関して二つの立場に関わってきました。脳神経外科医として救急医療に従事するとともに、自閉症児の親として活動をしてきました。それらを通じて高次脳機能障害と自閉症、注意欠如多動症、学習障害などの発達障害には多くの共通点があると感じています。

主要症状として、社会的行動障害、情動コントロールの障害、対人関係の障害、固執、また注意障害など似通った特徴があります。支援の方法にも、環境設定、視覚的支援、わかりやすいコミュニケーションなど共通する点が多数あります。福祉制度上で狭間の障害である点も同様で、固有の障害者手帳、障害者年金は存在しません。

本人、さらに家族、親の心情の変遷も似ています。障害があることを知った時のショック、悲しみ、憤り、焦り、絶望感などから、障害を持ったまま本人らしい人生を送っていくための努力を始める。神経学的な回復とともに精神的な回復が決定的に重要です。これらの過程を支援するために、回復期から生活期のリハビリテーションが果たす役割が極めて大きいと思います。

旭市・匝瑳市には回復期リハビリテーション病棟がありませんが、九十九里ホーム病院が今年11月開設を目指しており、私もお手伝いをしています。九十九里ホームは多くの福祉施設や居宅支援を実施している社会福祉法人です。海匝地域の高次脳機能障害患者さんの回復期、生活期の支援向上のため、旭中央病院も連携を深めていきたいと思っています。

## ◀ 千葉リハHP 更新!

高次脳機能障害支援に関するページを更新しました！情報を追加・整理し、より皆様にとってご活用いただけることを目指しています。地域支援者向け情報ページや、「こ～じのう掲示板」の特集記事のみに集めた特設コーナーがありますので、是非チェックしてみてください！



### 高次脳機能障害の具体例 (成人編)

## 編集後記

今年度、初のこ～じのう掲示板です。諸事情により編集Y氏が事実上の引退となり、今回は四代目Hと助っ人のK氏が編集に奮闘しております。そんなわけで例年よりも少々ボリュームダウンしてのお届けです。とはいえ、高次脳支援スタッフはエンジン全開、コロナ禍でストップしていたイベントも、今年度はほぼ再開となりました。カフェ輪駆や交流会、研修会などなど、できるだけ皆さまと顔を合わせての企画をすすめていく予定です。現場の声を大切に…をモットーに、今年度も頑張ります！  
(四代目H)



# こ～じのう 掲示板

2023.9 vol. 50

発行日 ■ 2023年9月30日  
発行 ■ (社) 千葉県身体障害者福祉事業団 千葉県千葉リハリテーションセンター  
千葉県緑区菅田町 1-45-2 Tel. 043-291-1831 (代) 内198発  
行責任者 ■ 地域支援センター 高次脳機能障害支援部  
部長 長谷川 純子 [高次脳機能障害支援センター]  
http://www.chiba-reha.jp/ ※ホームページからご覧いただけます





令和5年度  
高次脳機能障害支援ネットワーク担当者会議 (千葉県主催)

2023.6.26  
千葉リハ

千葉県健康福祉課精神保健福祉推進班の担当者2名と、千葉県の支援拠点機関4病院の支援コーディネーターが集まり意見交換を行いました。昨年度の取り組みでは、亀田リハで行った映画上映会(いのち見つめて～高次脳機能障害と現代社会～)が話題を集めました。課題と今年度の取り組みでは、社会的行動障害のある方への精神科との連携や学齢期のお子さんの支援、また各医療機関での入院と外来のリハビリのフォローの違いについて等が挙げられました。



令和5年度  
第1回高次脳機能障害支援普及事業全国連絡協議会

2023.6.28  
Web開催

全国の各ブロック会議の代表者より、昨年度の取り組みについて、就労、運転、家族、ピアサポート等、さまざまな視点からの報告がありました。会議の中で、厚生労働省より支援普及事業についての説明があり、今年度は前年度並みの予算に加えて、地域生活支援促進事業として、新たに予算を組んでいるとの話がありました。また、調査研究事業として、支援困難度の評価指標の研究や診断基準の検討に関する研究が現在進行中との説明もありました。厚労省との質疑応答の中では、医療との繋ぎに関して、社会的行動障害のある方を繋ぐことでインセンティブ(加算)がつく仕組みができないかといった質問があり、診療報酬についてはエビデンスが必要、少しずつ進めてそこへ繋げていきたいといった回答がありました。



令和5年度  
第1回高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議

2023.6.28  
Web開催

今回は、神奈川県リハビリテーション病院の瀧澤氏より、親亡き後の介護不在に備えて地域支援としてできること、クラブハウスすてっぷなな(横浜市にある高次脳支援事業所)の青木氏からは、横浜市の単独事業である自立生活アシスタント事業における高次脳機能障害支援の取り組みと課題について講演がありました。会議では、地域生活継続のための支援をテーマにグループ討論会が行われ、他県の取り組みを知ることができ、全国のコーディネーターと関われる貴重な機会となりました。

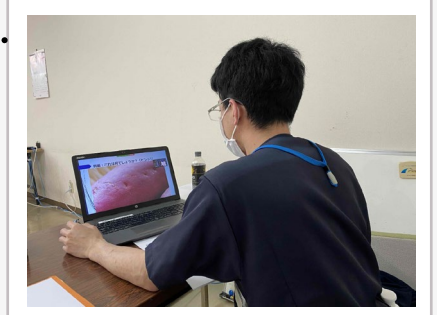


旭神経内科リハビリテーション病院

集団訓練「さくらの会」は今年度よりプログラムを変更しており、毎週実施していたところを3ヶ月毎に休み期間を挟んで行っています。内容も医師やリハビリスタッフが分担し、より自己フィードバックを促すようなものとなっています。

外部支援として、月1回実施している就労継続支援B型の事業所に対するオンラインレクリエーションの提供は引き続き実施しています。他2つの事業所も参加されることがあり、他の場所の様子を見ることも良い刺激となっている様子です。

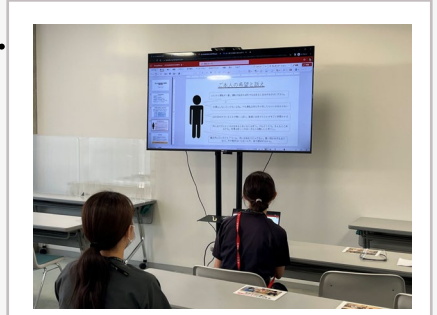
普及啓発活動として11月に「受傷後の生活をどのように構築していくか」をテーマに講習会を企画しており、当事者様を招いてパネルディスカッション形式で行う予定となっています。



▲オンラインレクリエーションの様子

亀田リハビリテーション病院

今年度より『事例検討会』を本支援事業で行うこととなり、7月に第一回事例検討会を開催しました。初回は亀田リハビリテーション病院併設の外来施設から事例を出しました。病院という医療の中だけでは気づかない視点を地域の行政、福祉の支援事業所からアドバイスを頂くことが出来ました。また事例で紹介した方の居住地地域の特徴や、福祉施設等の具体的な紹介も頂き生活地域での支援方法がより明確にすることが出来ました。今回の事例を通して改めて、地域連携の大切さや地域の強み等を見つけ出しケースにマッチングさせることの大切さ、いち事業所だけでなく多方面からの関わりにより、よりよい支援に繋がると感じました。



▲事例検討会の様子

総合病院 国保旭中央病院

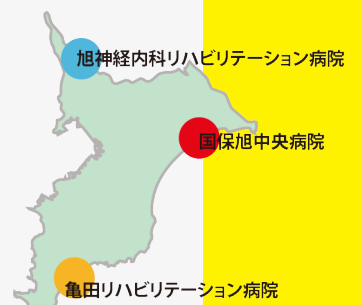
令和5年5月20日(土)に開催された、「高次脳機能障害 当事者・家族・支援者の会」についてご報告致します。

今回は、「就労継続支援B型について知ろう」というテーマで、事業所の職員の方から、施設の紹介や取り組みについて紹介して頂きました。当事者やご家族、支援事業者の方々、合計20名にご参加頂きました。後半は小グループで情報交換や交流の時間を設けました。当事者の体験談や本音、高次脳機能障害の方への関わり方などが話題に挙がり、有意義な情報交換の場となりました。

次回は12月に開催予定となっております。多くの当事者やご家族に参加して頂き、当事者・ご家族同士の交流、支援事業者の方々との情報共有の場になればと思っています。



▲当事者・家族・支援者の会の様子



千葉県内には千葉リハの他に、地域支援拠点機関が3つあります。毎月3つの支援拠点機関の取り組みや情報を掲示板のなかで発信していきます。



高次脳機能障害支援センターの近況や支援活動などを報告します。

## 日本職業リハビリテーション学会でポスター発表しました！

神奈川で行われた第50回日本職業リハビリテーション学会でポスター発表を行いました。現地開催された様子を支援センターだよりで掲載します。

今回、「高次脳機能障害者の就労定着支援実態調査報告～院内アンケートから～」というテーマで、ポスター発表をしました。千葉リハ内における高次脳機能障害者の就労定着支援に関し、各部署での支援内容、期間、目的等の実態を把握する目的で、当センタースタッフにアンケート行ったため、その結果を報告しました。日本職業リハビリテーション学会には、初めて参加をしました。職リハについて専門的に取り組んでいる方から、様々な最新の障害者雇用や就労支援の動向などについてシンポジウムやワークショップに参加し、新たな知識を得ることができました。ポスター発表では、最前線で就労支援をされている方々からご意見やご質問をいただき、専門や経験値の差から、高次脳機能障害の方の就労支援に苦慮されていることが窺えました。現場の方々のご意見や疑問についても今後の業務に反映させていただきたいと思えます。



会場である大学キャンパスにいた猫▲

## 青年期家族グループで支援機関見学に行ってきました！

コロナ禍で、企業・支援機関の見学を控えていましたが、今年度は復活！各圏域に1か所ずつある「障害者就業・生活支援センター」のうち、千葉市を管轄する「千葉障害者キャリアセンター」を訪問させて頂きました。



▲藤尾センター長と、真剣な表情の参加者ご家族

2023.6.27(月)は大変蒸し暑い日でしたが、6組のご家族にご参加いただきました。一人で見学やご相談に行くのはハードルが高いけれど、こうしたイベントなら…と、初めてご参加下さった方もいらっしゃいました。まず藤尾センター長より、最新の情報を用いた資料を見ながら「障害者雇用を取り巻く現状について」ご講義頂きました。その後、質疑応答・訓練場面の見学と進みました。ご参加頂いた皆様の個別の質問にも丁寧にご対応、アドバイスを頂き、あっという間の2時間でした。アンケートでは「具体的なお話が聞けて大変参考になった」「同じ境遇の方がこんなにて、悩みも共感できてよかった」等のご意見がありました。今後も、“学生から社会人へ”、“自立を支えるとは”といった青年期のテーマについて、ご家族のお役に立てるような企画を考えていきたいと思えます。

## 『第1回 家族のつどい』を開催しました！

2023.8.2に「家族のつどい」が開催されました。今回は14名の家族が参加され、お父様、お母様、配偶者(奥様)の立場のご家族でした。2グループにわかれて、70分間お話をさせて頂きました。自己紹介後、生活の場(グループホーム)に関する悩み、お金の管理に関する悩み、症状・特性に関する具体的な悩み等が活発に話し合われていました。経験豊かなご家族が、他家族に共感しながらアドバイスされている姿が素敵でした。



▲スタッフが板書をお手伝い。70分があっという間！



## 小児高次脳 家族グループ

2023.7.10 10:00-11:50 千葉リハビリテーションセンター



7月10日(月)に小中学生の家族を対象としたグループを開催し、8家族が参加しました。2019年度に開催して以来、4年ぶりとなります。スタッフが話題提供をした後、各参加者が話し、交流をしました。今回は参加者自身が「子どもの状態をどうやって受け止めてきたか」が話題となりました。涙を流して話す参加者も多く、共感し合える場だからこそ出せる感情があると感じました。「生きているだけで十分」「できているところを認めてあげたい」「自分も成長したい」など、気づきや再認識の機会となった参加者もあつたようです。

## 高次脳機能障害 地域支援者向け連続講座2023 (第1回・第2回)

①2023.7.14 14:00-16:00 千葉市民会館小ホール  
②2023.9.15-10.1 オンライン配信



2019年度から開催し今年度で5回目をむかえ、今年も集合研修を企画しました。第1回は7月14日に「高次脳機能障害概論」と「ミニ体験:面談の見える化」を行い、80名の参加がありました。質疑応答では積極的なご質問も多く頂きました。第2回の9月8日に、「各論1:神経疲労(易疲労)・注意障害」は、台風の接近に伴い集合研修を中止し、後日2週間のWEB配信に変更しました。参加申込者数90名でした。各論ではそれぞれの障害について症状と対応を詳しくお伝えし、また事例を多数提示しながら、アセスメントと対応等について事例ごとに詳しくご説明しました。

## カフェ輪駆

2023.8.5 13:00-15:00 千葉リハビリテーションセンター



コロナ禍で開催することもままならない状況でしたが今年度は早いうちにカフェ輪駆を開催することができました。25名の参加があり、アイスブレイクのゲーム、グループに分かれてご自身の状況を話していただきました。就職している当事者の方々が集い、普段どんなことでストレスを感じているか等、笑顔あり、悩む姿あり、皆さんと語り合い共有することで、少しでもストレス解消につながったと思います。仲間と垣根なく話せる機会が大切だと思いますので、今後も継続して開催できるよう頑張りたいと思います。

## 当事者・家族のための高次脳機能障害勉強会

2023.8.7-8.27 オンライン配信



これまで「千葉リハでの集合研」と「Web配信」を行ってまいりましたが、今年度は「Web配信」のみで行うこととなりました。1時間程度の動画を2つご用意し、流しっぱなしでも休憩が取れるよう、動画内に休憩時間を入れるなど工夫しました。遠方からもお申込み頂き、なかなか外出が難しい当事者・ご家族の方にも見て頂けたのではないかと考えております。アンケートからは「具体的な事例が多く対処行動等も役に立ちそう」「高次脳機能がピラミッド構造になっているという説明が分かりやすかった」等のお声を頂きました。次年度も継続して提供できるよう、準備をしていきたいと思っております。